

S I D R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 7 巻第 17 号

第 17 週 (4月23日 ~ 4月29日)

発行年月日:平成19年(2007年) 5月 7日

発行 :滋賀県衛生科学センター内
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

今週の感染症発生動向

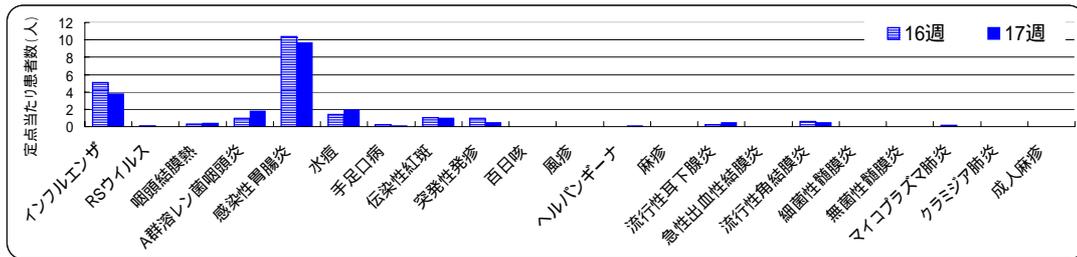
関東地域で麻疹の発生が増加! 滋賀県における全数報告感染症の概要(平成19年第11~17週)

定点把握の対象となる五類感染症の発生状況は、平成19年第16週(4月16日~4月22日)の報告数より大幅に減少していますが、大津保健所管内から麻疹の報告がありました。麻疹については関東地域で増加しているため、今後の発生状況に十分な注意が必要です。先週より増加した疾患は咽頭結膜熱、A群溶レン菌咽頭炎、水痘、ヘルパンギーナ、麻疹および流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)で、その他の疾患については減少または横ばいとなっています(詳細については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

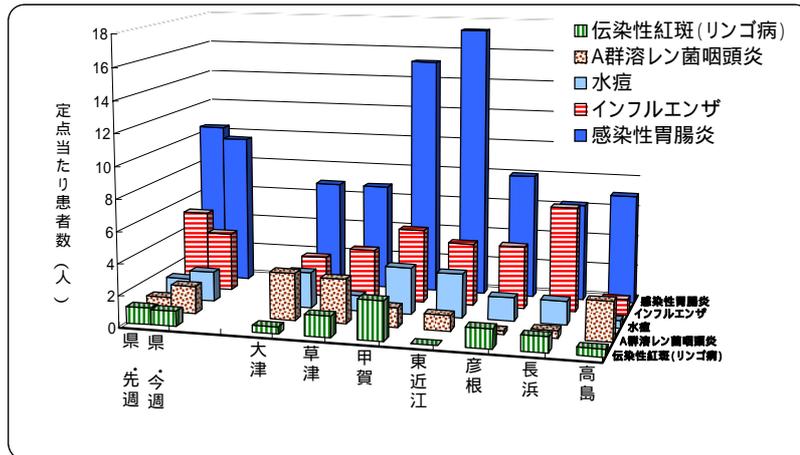
「感染症発生動向調査に基づく感染症の警報・注意報システム」によると、草津および甲賀保健所管内における伝染性紅斑に警報が発生しています。

全数把握対象疾患では、二類感染症の結核 5名の届出がありました。また、第14週に届出のあった結核 2名のうち 1名の届出は取り下げられました。

定点把握の対象となる五類感染症の疾患別発生状況(前週との比較、定点当たり患者数)



上位5疾患の発生状況(定点把握対象五類感染症、第17週、定点当たり患者数)



県全体における上位疾患の発生状況についてはグラフに示すとおり、感染性胃腸炎、インフルエンザ、水痘、A群溶レン菌咽頭炎、伝染性紅斑(リンゴ病)の順に多くなっています。感染性胃腸炎は甲賀および東近江で先週に引き続き多くなっています。

伝染性紅斑(リンゴ病)の警報発生状況(平成19年第14~17週、H19.4.2~H19.4.29)

週	滋賀県		大津保健所		草津保健所		甲賀保健所		東近江保健所		彦根保健所		長浜保健所		高島保健所	
	定点当たり患者数	警報発生														
14週	1.22		0.29		2.50		1.50		1.40		0.75		1.00		1.00	
15週	1.78		0.43		2.67		5.25		0.80		1.25		1.00		2.00	
16週	1.06		0.14		1.17		2.75		1.00		0.75		1.75		0	
17週	0.97		0.43		1.33		2.50		0		1.25		1.00		0.50	

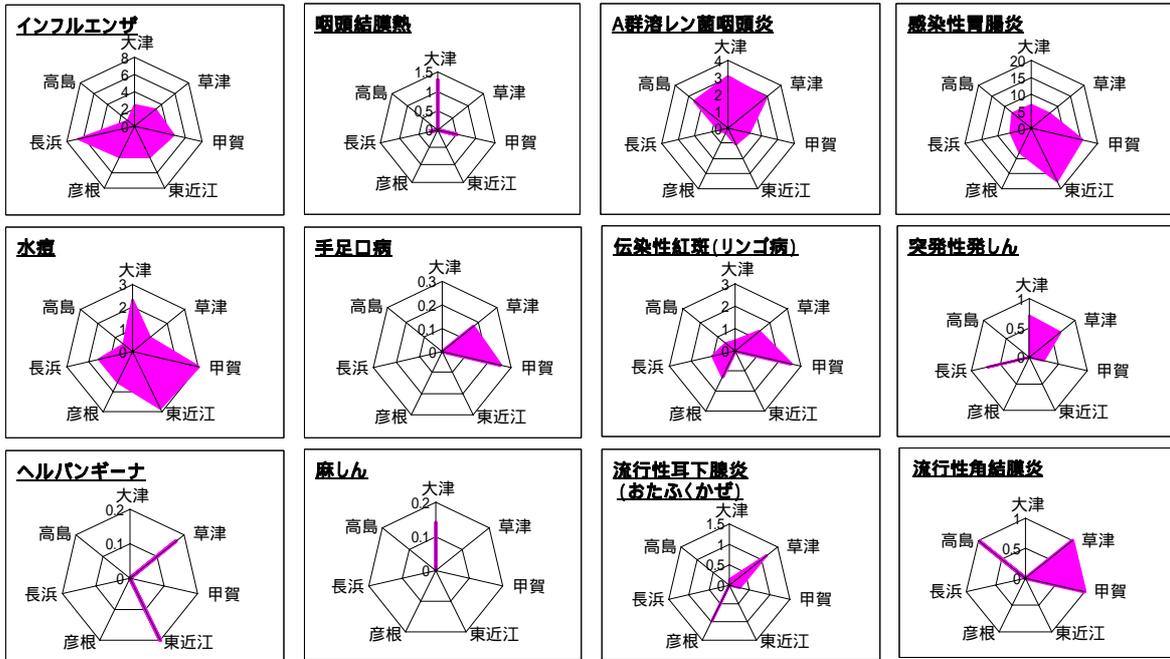
：警報発生中 警報発生基準値：定点当たり患者数が2人以上という基準値を超えた時に出され、それ以降、定点当たり患者数が1人未満になるまで継続して出されます。

(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第17週, 4/23~4/29)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況(県全体)			
	県	大津	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島				
インフルエンザ	3.77	2.55	3.22	4.71	4.00	4.00	6.71	1.00				
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0				
咽頭結膜熱	0.38	1.29	0	0.50	0	0	0.25	0				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.75	3.00	2.83	1.25	1.00	0.25	0.50	2.50				
感染性胃腸炎	9.63	6.86	6.83	15.25	17.40	8.00	6.25	7.00				
水痘	1.91	2.29	1.00	3.00	2.80	1.50	1.50	0.50				
手足口病	0.06	0	0.17	0.25	0	0	0	0				
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.97	0.43	1.33	2.50	0	1.25	1.00	0.50				
突発性発しん	0.41	0.71	0.67	0.25	0	0	0.75	0				
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0				
風しん(三日はしか)	0	0	0	0	0	0	0	0				
ヘルパンギーナ	0.06	0	0.17	0	0.20	0	0	0				
麻しん(成人麻しんを除く)	0.03	0.14	0	0	0	0	0	0				
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.41	0.14	1.17	0.25	0	1.00	0	0				
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0				
流行性角結膜炎	0.43	0	1.00	1.00	0	0	0	1.00				
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0				
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0				
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0				
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0				
成人麻しん	0	0	0	0	0	0	0	0				

■ は定点当たり患者数が先週より増加
 ■ は警報発生中
 ■ は注意報発生中
 0 2 4 6 8 10
 定点当たり患者数(人)

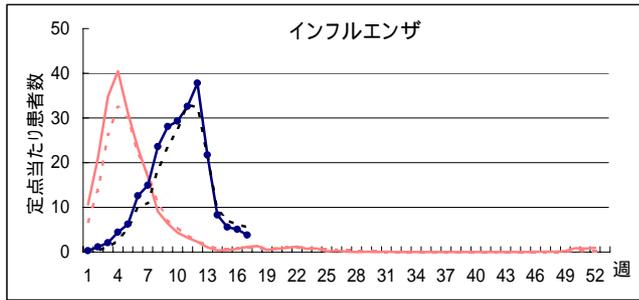
疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



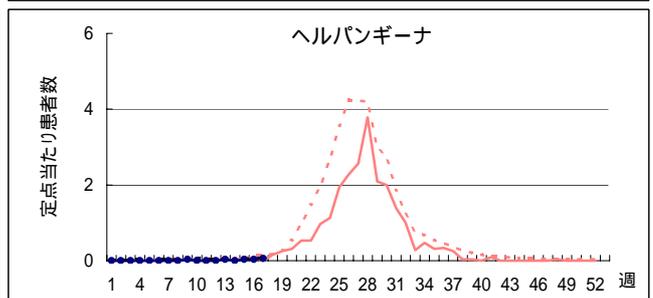
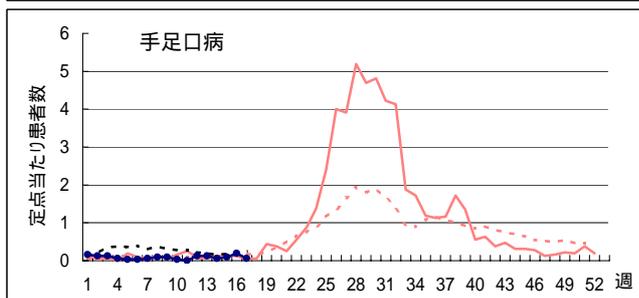
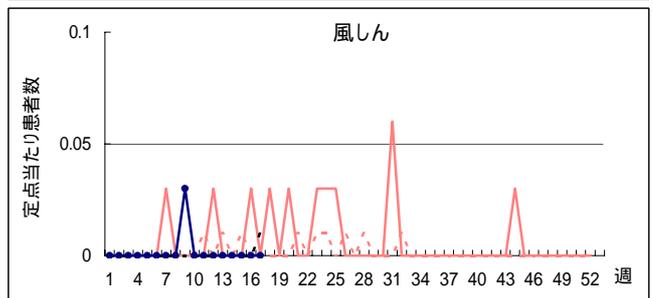
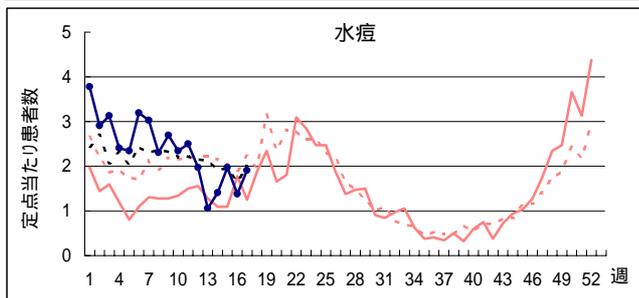
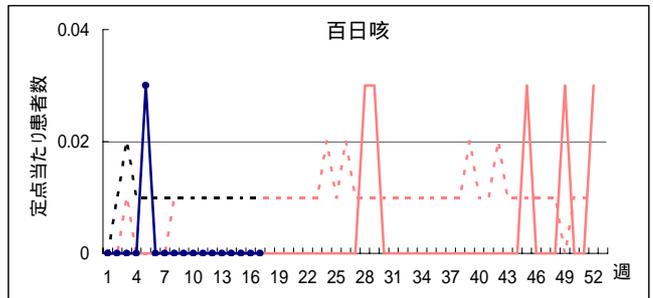
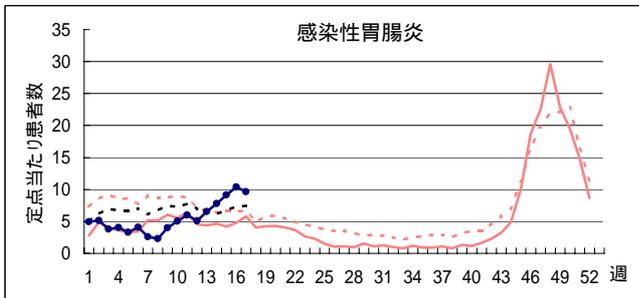
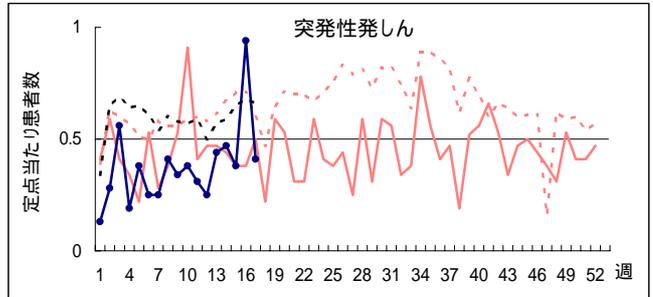
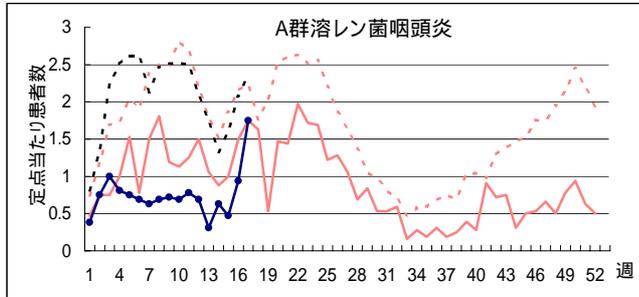
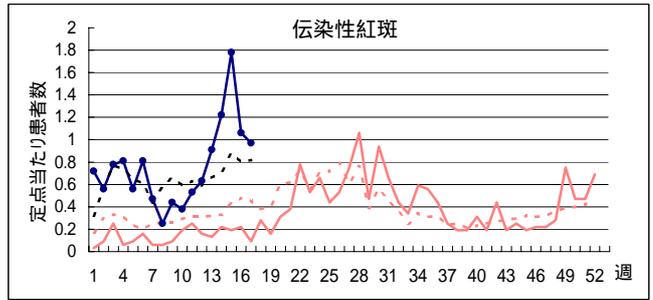
今週の発生状況：

- インフルエンザ----- 県全体の定点当たり患者数は3.77となり5週連続して減少していますが、長浜の定点当たり患者数は先週と同様 6.71でやや多くなっています。
- 咽頭結膜熱-----大津では先週と同様ですが、甲賀および長浜からも報告されています。
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎---- 県全体では先週のほぼ倍増となり、特に大津および草津で急増しています。
- 感染性胃腸炎-----県全体としては先週より減少していますが、大津、東近江および高島では増加しています。特に、東近江の定点当たり患者数は17.40と多くなっています。
- 水痘-----県全体では先週より増加し、大津、甲賀および東近江でかなり多くなっています。
- 伝染性紅斑-----県全体では先週よりやや減少していますが、草津および甲賀では先週に引き続き警報が発生しています。また、彦根では先週より増加し定点当たり患者数は1.25とやや多くなっています。
- 麻しん-----大津から報告されています。第1~17週に報告のあった麻しんは第13週1名、第17週1名です。
- 流行性耳下腺炎-----草津および彦根で先週よりさらに多くなっています。

疾病別定点当たり患者数(平成19年第1週～第17週、H19.1.1～H19.4.29)



H18 { 滋賀 ————
 全国 - - - - -
 H19 { 滋賀 ●●●●●
 全国 - - - - -



疾病別定点当たり患者数(平成19年第1週～第17週、H19.1.1～H19.4.29)

H18
 〔 滋賀 ————
 全国 - - - - -

H19
 〔 滋賀 ●—●—
 全国 - - - - -

